

科目名	自然地理学					単位	2.0
担当教員	溝口 晃之						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1214

●授業のテーマ

身近な自然現象を地理学の観点から解き明かす

●到達目標

地形学、気候学、水文学など、自然地理学の主要分野の基礎的知識を習得する。また、私たちの暮らしや身近な風景について、自然地理学の観点から考察できるようになる。

●学習内容(授業概要)

自然地理学の様々な事象について、その成り立ちや分布を紹介します。また、自然地理学の面白さを理解できるように、写真や図表を多用するとともに、身近な地域における事例も紹介します。

●学習内容(授業計画)

- 1 ガイダンス、自然地理学の領域
- 2 球面と平面、統計地図の作成
- 3 地形図を読む①(地図記号、土地利用、起伏と等高線)
- 4 地形図を読む②(断面図、尾根と谷、新旧の地形図)
- 5 気候要素①(気温、大気の大循環)
- 6 気候要素②(季節風、降水)
- 7 世界の気候区分(気候と植生)
- 8 日本の気候区分(気団と四季)
- 9 身近な気候(都市気候、日向斜面と日陰斜面、海風と陸風)
- 10 気候変動と異常気象(地球温暖化、エルニーニョ現象、ENSO)
- 11 さまざまな水と生活(水の循環、河川水、地下水)
- 12 身近な水(都市河川の特色、カルスト地域の水の流出)
- 13 植物と動物の地理的分布
- 14 環境の変化、自然保護(湿地や里山の保護)
- 15 自然災害と防災(地震、火山、都市型水害)

●準備学習・事後学習の内容

毎回、授業で使用する資料を提示し、事前に学習できるようにします。

●成績評価方法・基準

授業に積極的に参加し主体的に学んでいるか、基礎的な知識を習得できたか、の両面で評価します。その内訳は、毎回の授業後に提出するシートを45%、期末試験(筆記試験)を55%とします。

●テキスト(必携)

テキストは使用しません。授業レジュメと教育機器(OHC)を用いて授業を進めます。

●参考文献／その他

参考図書は授業中に紹介します。

●履修上の注意

毎回、中学校または高等学校で使用した地図帳、色鉛筆を持参してください。